

分類	一般名	製品名	剤型	平均減量(%) <sup>1)</sup>	効能・効果(内服薬)	用法・用量(不眠症のみ抜粋)	規制区分	販売/販売提携会社名
オレキシン受容体拮抗薬	スボレキサント	ベルソムラ®	錠10mg <sup>※1)</sup> / 錠15mg / 錠20mg	10 <sup>†</sup>	不眠症	通常、成人にはスボレキサントとして1日1回20mgを、高齢者には1日1回15mgを就寝直前に経口投与する。	習処	MSD
	レンボレキサント <sup>※2)</sup>	デエビゴ®	錠2.5mg / 錠5mg / 錠10mg	47~51 <sup>†</sup>	不眠症	通常、成人にはレンボレキサントとして1日1回5mgを就寝直前に経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、1日1回10mgを超えないこととする。	習処	エーザイ
メラトニン受容体作用薬	ラメルテオン	ロゼレム®	錠8mg	1	不眠症における入眠困難の改善	通常、成人にはラメルテオンとして1回8mgを就寝前に経口投与する。	処	武田
超短時間作用型	ゾルピデム酒石酸塩*	マイスリー®	錠5mg 錠10mg	2	不眠症(統合失調症及び躁うつ病に伴う不眠症は除く)	通常、成人にはゾルピデム酒石酸塩として1回5~10mgを就寝直前に経口投与する。なお、高齢者には1回5mgから投与を開始する。年齢、症状、疾患により適宜増減するが、1日10mgを超えないこととする。	向習処	アステラス/サノフィ
	ゾピクロン*	アモバン®	錠7.5mg 錠10mg	4	不眠症、麻酔前投薬	通常、成人1回、ゾピクロンとして、7.5~10mgを就寝前に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、10mgを超えないこととする。	向習処	サノフィ/日医工サノフィ/日医工
	エソゾピクロン*	ルネスタ®	錠1mg 錠2mg 錠3mg	5~6	不眠症	通常、成人にはエソゾピクロンとして1回2mgを、高齢者には1回1mgを就寝前に経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、成人では1回3mg、高齢者では1回2mgを超えないこととする。	習処	エーザイ
	トリアゾラム	ハルシオン®	錠0.125mg 錠0.25mg	2~4	不眠症、麻酔前投薬	通常成人には1回トリアゾラムとして0.25mgを就寝前に経口投与する。高度な不眠症には0.5mgを投与することができる。なお、年齢、症状、疾患などを考慮して適宜増減するが、高齢者には1回0.125mg~0.25mgまでとする。	向習処	ファイザー
短時間作用型	エチゾラム	デパス®	錠0.25mg 錠0.5mg 錠1mg 細粒1%	6	神経症における不安・緊張・抑うつ・神経衰弱症状・睡眠障害、うつ病における不安・緊張・睡眠障害、心身症(高血圧症、胃・十二指腸潰瘍)における身体症状ならびに不安・緊張・抑うつ・睡眠障害、統合失調症における睡眠障害 下記疾患における不安・緊張・抑うつおよび筋緊張 頸性症、腰痛症、筋収縮性頭痛	通常、成人にはエチゾラムとして1日1~3mgを就寝前に1回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、高齢者には、エチゾラムとして1日1.5mgまでとする。	向処	田辺三菱/吉富
	プロチゾラム	レンドルミン®	錠0.25mg D錠0.25mg	7	不眠症、麻酔前投薬	本剤の用量は、年齢、症状、疾患などを考慮して適宜増減するが、一般に成人には次のように投与する。 [不眠症]1回プロチゾラムとして0.25mgを就寝前に経口投与する。	向習処	日本ベーリンガーインゲルハイム
	リルマザホン塩酸塩水和物	リスミー®	錠1mg 錠2mg	10	不眠症、麻酔前投薬	通常、成人にはリルマザホン塩酸塩水和物として1回1~2mgを就寝前に経口投与する。なお、年齢、疾患、症状により適宜増減するが、高齢者には1回2mgまでとする。	習処	共和薬品
	ロルメタゼパム	エバミール® ロラメット®	錠1.0mg 錠1.0mg	10	不眠症	ロルメタゼパムとして、通常、成人には1回1~2mgを就寝前に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、高齢者には1回2mgを超えないこととする。	向習処	バイエル あすか製薬/武田
中間作用型	フルニトラゼパム	サイレース®	錠1mg / 錠2mg	24	不眠症、麻酔前投薬	通常成人1回、フルニトラゼパムとして、0.5~2mgを就寝前又は手術前に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、高齢者には1回1mgまでとする。	向習処	エーザイ
	エスタゾラム	ユーロジン®	錠1mg / 錠2mg 散1%	24	不眠症、麻酔前投薬	本剤の用量は、年齢、症状、疾患などを考慮して適宜増減するが、一般に成人には次のように投与する。 [不眠症]1回エスタゾラムとして1~4mgを就寝前に経口投与する。	向習処	武田/武田テバ
	ニトラゼパム	ベンザリン® ネルボン®	錠2mg / 錠5mg 錠10mg / 細粒1% 錠5mg / 錠10mg / 散1%	28	不眠症、麻酔前投薬、異型小発作群;点頭てんかん、ミオクロナス発作、失立発作等 焦点性発作;焦点性痙攣発作、精神運動発作、自律神経発作等	通常、成人にはニトラゼパムとして1回5~10mgを就寝前に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。	向習処	共和薬品 アルフレッサファーマ
	クアゼパム	ドラル®	錠15mg 錠20mg	36	不眠症、麻酔前投薬	通常、成人にはクアゼパムとして1回20mgを就寝前に経口投与する。なお、年齢、症状、疾患により適宜増減するが、1日最高量は30mgとする。	向習処	久光
長時間作用型	フルラゼパム塩酸塩	ダルメート®	カプセル15mg	65	不眠症、麻酔前投薬	通常成人1回、1~2カプセルを就寝前または手術前に経口投与する。ただし、フルラゼパム塩酸塩として、10~30mgとする。なお、年齢、症状により、適宜増減する。	向習処	共和
	ハロキサゾラム	ソメリン®	錠5mg / 錠10mg 細粒1%	85	不眠症	ハロキサゾラムとして、通常成人1回5~10mgを就寝前に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。	向習処	アルフレッサファーマ

※1:CYP3Aを中等度に阻害する薬剤と併用する場合に使用を考慮する

※2:CYP3Aを中程度又は強力に阻害する薬剤と併用する場合は1日1回2.5mgとする

\*:非ベンゾジアゼピン系不眠症治療薬

†:睡眠薬の適正使用・休薬ガイドライン、睡眠薬の適正使用及び減量・中止のための診療ガイドラインに関する研究班、三島和夫、じょう、P40、2014。

‡:添付文書に基づく

規制区分 向:向精神薬 習:習慣性医薬品 処:処方箋医薬品  
ご使用にあたっては、各薬剤の添付文書をご参照ください。